



うばどうっ子だより

教育目標：花と緑を愛し心豊かでたくましい子どもの育成

令和元年度 学校だより
R1.5.28日第4号
文責 校長 小林 雅

○運動会大成功

5月18日に運動会を行いました。晴天のもと、児童は今までの練習の成果を発揮し、元気いっぱい躍動しました。運動会を通して体力向上はもちろん、協力する大切さや、やり抜く力等大きな力が身につきました。今後の学校生活に生かして参ります。保護者の皆様には早朝からご協力いただきましたこと感謝申し上げます。なお、来年度の運動会に向け保護者の皆様全員に運動会反省のアンケートを配付いたしましたので、ご協力よろしくお願ひいたします。



○祝第54回福島県小中学校PTA広報誌コンクールに入選しました。

本校のPTA広報委員会が年2回発行している広報誌「あぜみち」がPTA広報誌コンクールで見事入選しました。これまで努力して作成してきた「あぜみち」の内容や構成等が高く評価されました。

先日、福島民友社から賞状と盾が本校に送られました。PTA広報委員会の皆様おめでとうございます。また、今後の活動もよろしくお願ひいたします。



佐藤まどか先生が着任しました。

4年生担任の桑原日佳里先生の校外での初任者研修後補充講師として佐藤まどか先生が5月21日に着任いたしました。佐藤まどか先生には5月～11月に、13日間勤務いただき、4年生を担当していただきます。保護者の皆様、よろしくお願ひいたします。



本年度、桑原日佳里先生の校外研修の後補充としてお世話になります、佐藤まどかです。平成28年度にも姥堂小学校でお世話になりました。明るく優しいすてきな子ども達とまた一緒に活動できること、とても楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

裏面に昨年度「緑の提言・作文コンクール」で銀賞を受賞した戸田絢乃さんの作文を載せました。この作文は5月4日の福島民友新聞に掲載されましたものです。素晴らしい作文をぜひご覧ください。

令和元年5月4日 福島民友新聞より



小学校低学年の部 銀賞

「みどりの町 ふくしまを作るために」

喜多方市立姥堂小2年 戸田 紗乃さん

この冬、わたしはある本に出会った。それは、グリーンズパークという町がたつまきで、たったの九分ではちゃめちゃになるところからはじまる。ここでわたしは東日本大震災の時のふくしまけんもこんなかんじだったのかなと思った。その時わたしは一歩いにもなっていなかつだけがあった。

その後グリーンズパークの人たちは、新しい町を作りはじめた。この本のだい名前は「みどりの町をつくろう」。わたしはみどりの町を作るため、町の人はきっと木をうてたり、たくさん花をそだてたりするんじやないかなと思つた。町の人は、顔を合わさない水、太ようの力をかりてくら自木す」とだつた。わたしはその考え方を見ても、だれにでもふだんからできることを見つけた。これら

地しんにあつたふくしまさんは、今花いっぱいなどう道のじゅうはしつかりしめる。ごはんをのこさないようふをまいかけるか、かさねぎする。いらなくなつたふくしまにあつたふくしまけんのよろこびと、みんなで作る」とだ。

とだけがみどりの町を作ることじゃなかつたからだ。自分めぐみはかぎりがあるから、何でもひつような分だけ、くりかえし大切につかう」とだつて、みどりの町を作ることにつながるんだ。それならわたしにもできることがある。さむいときにはストーブを強くしないで、もうふをまいかけるか、かさねぎする。やおもちゃんは、だれかにゆずる。ちゃんと電気をけず。水を作る」とだつて、みどりの町を作ることにつながるんだ。それならわたしにもできることがある。

喜多方市教育ポータルサイト更新中です



喜多方市立 姥堂小学校



是非ご覧ください！